

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可) ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) つる細工	(ふりがな) つるざいく	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	つる細工		
伝承地域	南会津地方 (只見町)		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 豪雪地帯の南会津では、冬の手仕事としてつる細工が行われている。		
内 容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 南会津地方では、冬の手仕事として古くからヤマブドウ、マタタビ、アケビ等を材料としたつる細工が行われてきた。冬の南会津地方は雪に覆われ、屋外での生産活動はできなくなるが、農耕や生活を支えるための用具を準備する大事な時期であった。豪雪地帯である只見町では、豊かな森林の恵みを生活に生かしてきた。		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの) —	(材質) —	
見 頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) —		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話	0 2 4 1 - 8 2 - 5 3 2 0

【フリーフォーマット】

キーワード



(ザル編みをする只見町・酒井洋子さん 平成25年2月撮影)

嫁に来て舅から習ったというアケビを材料とした「つる細工」を、77歳になった今でも続けている。作品を友人等に贈り喜ばれた時は、「じいちゃんに習っていて本当に良かった」と語ってくれた。



写真は、酒井さんの作品。ザルだけでなく、花瓶入れなど様々なものを作っている。